

第25回 佐賀市子ども・子育て会議 要旨

日時:令和6年8月7日(水)19:00~19:40

場所:佐賀市役所本庁4階大会議室

1 開会

2 議事

第3期佐賀市子ども・子育て支援事業計画の策定について

(1) 第3期計画策定に係るスケジュールについて

●事務局

資料2により説明(省略)。

○質疑なし

(2) パブリックコメント実施前の計画案に対する意見聴取について

●事務局

資料3により計画案第1章及び第4章を説明(省略)。

○質疑なし

●事務局

資料4により計画案第2章及び第3章を説明(省略)

○委員

資料4計画案第3章 2 子育てに対する意識について(25~26頁)

「(2)佐賀市は子育てしやすいまちだと思ふ理由」と、「(3)佐賀市が子育てしやすいまちではないと思ふ理由」の設問において、どちらの調査結果も保育サービスの充実や子どもの遊び場に関することが上位に挙がっている。

子育て世帯がどのようなサービスや遊び場を求めているのか、具体的に把握しているのであれば教えてほしい。

●事務局

子育て世帯がどのようなサービスを求めているのかについては、保護者を対象とした意向調査では設問として設けていないが、佐賀市が子育てしやすいまちではないと思ふ理由の自由回答欄では「公園でボール遊びができないから遊び場が少ない」という回答が複数あった。

また、保育サービスの充実については、ライフスタイルの多様化などで子育て家庭が必要とする保育サービスは様々となっており、利用したいサービスが十分に受けることができなかった場合など、感じ方は様々であるため、このような結果になったのではないかと考えられる。

子育てに関することの相談先としては、地域子育て支援拠点施設や子育てサークルなど充実していると考えている。

○委員

「子育てしやすい」とは、子育て世帯の意識に「子どもを預けやすい」ということが根本にあると思う。

また、親がこどもを「預ける」ではなく「育てる」という意識を持ち、親が主体となって子育てできるようになればいいのではないかと思う。

●事務局

資料4(29頁)に記載のとおり、佐賀市では基本理念の一部に、「保護者が子育てについての第一義的責任をもつという基本的認識のもと」と一文を設けている。第1期及び第2期計画同様に、第3期計画においても、この考え方について非常に重要であると認識して計画策定を行っている。

しかし、社会や家庭のあり方が多様化する中、こどもを預けることが必要となっている保護者がいることも理解している。

根本的には、このような考えのもと計画を策定している。

○委員

第3期計画を策定にあたって実施した意識調査の対象者数、回収率や調査形式について教えてほしい。

●事務局

資料4(3頁)に記載のとおり、調査方法としては、紙媒体の調査票を活用し行っており、意識調査の対象者数は、市内在住の就学前児童の保護者 2500人、市内在住の小学校児童の保護者 1500人としており、回収率はどちらも 40%程度となっている。

調査形式は、設問に対し複数の選択肢を設け、回答者に選択してもらう選択回答形式となっており、一部の設問において「その他」という選択肢を設け、具体的内容を記入する欄を設けて行った。

●事務局

資料4により計画案第5章及び第6章を説明(省略)

○質疑なし

3 閉会